

Newton e-Learning を利用した英語教育について ～奈良工業高等専門学校様の取組み～

株式会社ニュートン「Newton e-Learning 事例報告」編集グループ

全国には、国公私立あわせて約 60 校の工業高等専門学校が設立されています。工業高等専門学校においては、国際的に通用する技術者の育成のため英語教育の質の向上が急速に求められています。

国立奈良工業高等専門学校様(奈良県大和郡山市)においては、弊社 e-Learning の導入により TOEIC®TEST のスコアが飛躍的に上昇しました。今回は、同校一般教科英語准教授・金澤直志先生が執筆された「TLT の導入に至った目的と経緯」と題された資料をもとに、同校の e-Learning への取組みについてご紹介いたします。

■ 2007 年に Newton TLT TOEIC® TEST 対策Aコースを授業に導入

2002 年度以降、JABEE(日本技術者教育認定機構)や日本高等教育評価機構などの外部審査や認証評価に耐えうる学校全体の研究教育カリキュラムの再構築を検討されていましたが、学生を支援する英語教育の設備充実の一環として、2004 年度から Web 教材を活用した英語授業が始まり、2007 年には次世代のさらに良いコンピュータ教材を求め、弊社 TOEIC® TEST 対策 A コース (TOEIC® TEST スコア 500 点以上を目指すコース)を実験的に一部の担当クラスに導入されました。

■ 教師と学生の両者に対して優しいサービス

Newton TLT に対しては、完全に Web 上の教材なので「サーバー管理の煩わしさから解放される」、「学生が学習場所を選ばずにアクセスできる」と利点を挙げていただきました。

さらに「TLT の考え方」、「その問題量の豊富さ」にも納得し導入を決断されましたが、それ以上に「ソフトウェアのカスタマイズ(学校別、学年別、クラス別に欲しい資料を抽出できることなど)の実行力と迅速な対応」、「利用者(教師と学生と両者)に対して優しいサービス」が、教える側の立場として非常に助かっているとのご評価をいただきました。

■ TOEIC® TEST の点数が平均 49.1 ポイント上昇

2008 年度には、ご担当の全クラスに対して TOEIC® TEST 対策 A コースを導入されました。その結果、受講した 194 名の TOEIC® TEST の点数は、平均 49.1 ポイントも上昇しました。

TOEIC® TEST 対策 A コース教材を利用していない他のクラスと比較すると、受講していない 183 名は平均 15.3 ポイントの上昇にとどまったとのことでした。

このように、2008 年度の受講生徒様においては、TOEIC® TEST 対策 A コースの進捗率が 40% ほどであったにもかかわらず大いに成果をあげることができましたが、2009 年度末(2010 年 3 月末)には同校受講者のほとんどの生徒様が TOEIC® TEST 対策 A コース教材を 100% クリアするので、今後のテストでのスコアの伸びが期待されています。

Newton e-Learning のめざすもの～導入ステップ例

株式会社ニュートン 主任研究員 田中康夫

文部科学省の「大学設置基準」によりますと、たとえば大学の場合、1科目15回の授業で2単位を取得するのに、授業と予習・復習合わせて90時間の学習が必要であるとされています。授業が約20時間とすると、予習復習に約70時間。しかし、eラーニングは通常の学習に比べて効率のよい学習ができるので、実質的にはこれよりもはるかに少ない学習時間で同等以上の効果を収めることが可能です。

今回はeラーニングの具体的な導入ステップについて、Newton e-Learning 英語TLTソフトでのモデルをご紹介します。と思います。

Newton e-Learning のシステムは総称を“TLTソフト”といい、日米特許（国内 N0.3820421；米国 No.5888071）を取得しています。弊社TLTソフトは上記の特許を最大限活用し、自動反復学習により学習内容の完全習熟を目指して開発された教材です。

■ eラーニング導入の基本ステップ

- ・eラーニングの特長を生かすには学習環境を整えることが必要です。

【STEP1】 eラーニングのコースを選ぶ

・Newton e-Learning の英語TLTソフトは3コース。

・それぞれトレーニングを重視した「演習教材」と、達成度を確認する「テスト」の組み合わせです。

- | | | | | |
|--------------------------|---|------|---|-----|
| (1) TOEIC® TEST 対策 A コース | = | 演習教材 | + | テスト |
| (2) TOEIC® TEST 対策 B コース | = | 演習教材 | + | テスト |
| (3) センター試験『英語』対策コース | = | 演習教材 | + | テスト |

・上記に加えてオリジナル教材を追加して使用することも可能です。クラスや学習者のレベルにあわせたオリジナル教材を制作し、学習効果を一段と高めることができます。

【STEP2】 eラーニングを使うクラスと担当者を決める

- | | |
|-------------|-----------------------------------|
| 通常授業クラス | : 通常のクラス単位で使います |
| 合同/選抜クラス | : 学部・学年・学科横断的にクラスを編成して使います |
| リメディアル学習クラス | : 特に学習支援の一環として補習などに使います |
| 入学事前学習クラス | : 新入学・編入学前に入学予定者(推薦入学者)が学習するクラスです |
| キャリア支援クラス | : キャリアセンターの授業に使います |